令和6(2024)年8月5日発行　第158号

こびとのおうちえんLetter 8月号

おやつがおいかときいたからM.M.で「すいかの名産地」をうたってみたら、意外とヒット。あそびながら口ずさむ子多数。

今日、やりたいことでちほが「イモリとり」と言った。もう暑くてイモリもかくれちゃってるだろうぅ…と思ったけど、2人で行ってみた。

穴を棒でつついたら、イモリの赤ちゃんがいっぱい出てきた!! びっくり!!かわいい――。超ミニイモリ。手足も指もかわいい。こんなにうまれてるやん！おなかもちゃんと赤い。おうちえんに帰って話すと、たいがゆずきまおも見に行った。「ウーパールーパーみたいなのもいた！」って。午後は、ももちゃんいちかまたちほが行く。イモリの赤ちゃんツアー盛況。(7/30)

7月はこんなことしました

- 室積で泳ぐ
- さつまいもの苗うえ
- じゃがいもほり
- 七夕かざり
- 川プール
- ブルーベリーとり
- 生きものさがし
- バス停めぐりさんぽ
- ちょうちょ、トンボとり
- 年長さん夏キャンプ
- リレー
- すっぽんさがし
- セミのぬけがらさがし
- 丸山海浜パークであそぶ
- クワガタとりさんぽ
- 穴ほり
- イモリの赤ちゃんをみる
- ポップコーンづくり
- 小豆のたねまき
- スクラッチアート
- うさぎごっこ
- お茶つみ（阿波番茶づくり）
- 雨さんぽ（日向平）
- 白玉だんご作り
- 赤じそジュースづくり
- 工作

etc…

8月のペアレンツグループ

28日(水) 13:00－15:00

場所　もみじの家

内容　フィーリンググループ

参加の方は事前におしらせ下さい。

「今」の自分の気もちにていねいにふれる時間。ご一緒しましょう。

おしらせとお願い

- 8/7(水)～18(日)は夏休みです。体調に気をつけて、楽しくすごして下さいね！
- 夏休みの前にカゴの中のものは一旦持ち帰り、空にして下さい。

8月のスタッフプラン
・海や川であそぼう！

2日(金) おべんとうの日（浦）

年長・年中さんの錦川ラフティング。とってもおもしろかったです！みんな大喜びでした!!

年少さんも水あそびやブルーベリーとり、かくれんぼなど楽しんだようです。

8月のおむすびの日
23日(金) 30日(金)です。

※おむすびよろしくおねがいします。

＿＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

ももちゃんのコーナー

おうちえんの無い日は、毎日田んぼで草刈りをしている。

周防大島に4月末に移住。家のすぐ下の田んぼには、大木が2本切り倒されたままになっていた上に、くずがからまってジャングルだった。「できるかな？できたらいいな。」とか言いながら、だんなと2人で草を刈り、木を玉切りにして外に運び出し、溝を掘って、近所のおじいちゃんに取水口を聞いて、（おじいちゃんは、こんなに何年もやっていない田んぼ、あんたらにできるわけない、としばらく教えてくれなかった）水を通す。6月にいただいた苗を植えたら、2畝の小さな、でも立派な田んぼができてしまった!! 家の中は引っ越してきたまま、屋根の雨もりもそのままだったけど。20年も放置されていた田んぼは、良く肥えていて秋には大豊作となり、たいたご飯が本当においしかった。

自然農の田んぼは、巷で良く見る水田とは全く違って畑に近い。4mごとの畝を作って、その溝の部分に水を回す。時々畝の上にも水が上がるようにする。田んぼの一画で育てた苗を運んで、穴を掘って、1本ずつ植えていく。とても時間のかかる地道な作業だ。（でも、田植えも草刈りもやり始めは気が散って仕方ないのだけど、だんだん集中してきて、頭が空っぽになっていく。"今"だけにいる感覚。これが気持ち良い）その代わり、田おこしや代かきなどの機械を必要とする作業が一切いらないので、鎌、くわ、シャベルなどの簡単な道具だけでお米が作れてしまうのだ!!

近所の90才のおばあちゃんの若いころは、どの家も牛を飼っていて、毎日山の上までひいていき、田んぼの仕事をさせていた。ついこの間までそんな暮らしがあったのに、今や想像すらできない。田んぼをするようになって、都会の生活で何となく感じていた不安の正体が、大地とつながっていないからとわかった。お金さえあれば何でも手に入るけど、自分の手で何も生み出していないから、生きていることに実感がもてないのだ。

今年で9回目の田んぼ。サラリーマン家庭で町中に育った私は、道具の扱い方も自分の体の使い方も知恵も知識も全く備わっていなかったけど、少しずつ身についてきた。自分の手足や体、頭をフルに使って、自分の暮らしを自分で作っていきたい、と思っている。そして、子どもたちには、時間がかかってお手軽ではないけれど、疲れるけれど、自分の手足や頭を使って生きる喜びをいっぱい味わって欲しい。

それは、素晴らしく暑い夏のある日、の田んぼで思ったこと。

堀　百代

よっこのちょこっとおうちえん日誌へ日々のあれこれ～

いちかとがっつり向かいあうタイミングがやってきた。
いちかの準備ができたと感じた。
いちかが急に泣き出した。さみしいの？ときいたら、おんおん泣いた。さみしいと泣いた。少し苦しそうに泣くから、もっともっと泣いていいよ、と言った。
そして背中をトントンしたら、それを拒否しなかった。
ああ、私のこと大丈夫なんだね、と思った。
そして、しばらくすると泣き止んだ。まだ一緒にいようか？と言ったら首をふった。1人でいたい？ときいたらうなづいた。それでしばらくそうしてた。
すると、おへやに入り工作をはじめる。こんどは、「どうしていいかわからない！」と言って泣いた。
工作の材料がなくて困ってた。でも、ちゃんと言えるんだ。そして、こんなの使えるよ。と青いフィルムの紙を出したらそれを切って何か作りはじめた。午後は、白玉だんご作りのおわった

メンバー（とうや、みお、なおと、かほ）と一緒に下におりて走った。すごく気もちよさそう。みんな。とんだり、草の上をころがったり、それがすごくよかった。いちかよくしゃべってたな。いちかが1日よかった。かなしい、うれしい、さみしい、こまってる、全部OKやん！と思う。いちかは決してかわいそうではない。
その次の日からもいちかとの時間を意識的にふやした。海でいちかが自分のやりたいことをやって1日を楽しくすごすようになった。川プール、自分のタイミングでデビューした。こわがってた海で、ライフジャケットで1人でおよげるようになった。おひるごはんのおかわりをするようになった。どんどん開いて自由になってゆく。どのスタッフともきょりをちぢめている。安心がふえていってるのをまざまざと見ることができた。そんないちかの7月だった。

おさんぽに行くメンバーがけいご、ゆずきの2人だとかんちがいしたわたし。
クワガタさがしの準備して2人がスタンバイしてる。その横にうたもいたけど、うたはおにわであそぶと思ってた。それで2人に、よし出かけよう！と声をかけたら、うたが「うただっておさんぽ行くって言ったよ！」と言った。
あぁ！そうだったのだ。ごめん、うた…。うたは、カゲよかった。悲しさも伝わってきた。
私はそのときうたは私にとっての「希望」ではなく「勇気」だ。と思った。
うたが流さずまっすぐに伝えてくれたこと。言わずに被害者になるわけでなく、言えない自分を卑下するでなく（相手を責めたり自分を責めたりするところにいないのだ、うたは。）まっすぐに。
そして、そういう関係に今なれていることが、本当にうれしい。クワガタとり、めっちゃ積極的なうただった。(7/9)

王子様だれがいい？って男の子たちの名前をつらねて言った。よっこは、「今日はゆずきがいいー！」
そしたら
みお「さゆちゃん！」いちか「さゆちゃん！」
かほ「さゆちゃん！」さゆき王子が人気…
(7/22)

ごはんのあと、マラソンしようかーととうやに言ってふられたけど、ふうとさゆきがいくー！って。あんまりマラソンしてないイメージだったからびっくりなのとうれしいのと。そしてめちゃくちゃ久しぶりにマラソンしたのだ。坂はゆっくり上がって上についたら3人でタッタッタッと走った。話ができるくらいの速さで。それがとてもきもちよかった。そして、かえってきたら川プールへ！
(7/17)

おうちごっこでよっこがねむっていたら、かほが「あら、ねこちゃんのかたちでねちゃったわ。」
(7/10)